



2023 年度
第 2 号

体育市民連帯 ニュースレター

体育市民連帯コラム

1
民選 2 期体育会に望む



大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

2
体育人

500 万人のうち
体育会長を選ぶ人は
たった 0.01%



3
スポーツ倫理センター

金浦 FC ユース
選手死亡
指導者懲戒要請



4
ネットカフェに行った

小学生教え子 150 回
殴った体育館館長
2 審も執行猶予



5
北朝鮮

新年初の「体育の日」
丈夫な体力で
新しい変革闘争に熱意

6
もらった応援返したい…

元ボクサー
チャン・グァンシク氏の
人生第 2 幕



01 体育市民連帶コラム

民選 2 期体育会に望む

昨年末、ソウル市をはじめ 17 の市道体育会長と 228 の市郡区体育会長選挙があった。選挙過程で政界の選挙介入と選挙人団の構成と資格問題、不正選挙疑惑などが浮上し、一部では選挙不服宣言と再選挙要求もあった。228 の地方体育会選挙地域のうち 101 地域は無投票当選で選挙への無関心も大きかった。

選挙は民主主義の花だ。市民が体育会の政策を決定し、参加しなければならない権利と義務がある。市民が直接参加することは現実的に難しいので、代理者を選出して仕事を代わりにさせる過程が選挙だ。選出された体育会長は市民の代理人であることを肝に銘じなければならない。彼らだけのリーグにならないよう市民の持続的な関心と参加が必要だ。これを裏付ける政策的、制度的補完も切実だ。

新しく選出された各地域の体育会長は、4 年間の任期を開始し、各地域の体育会を代表し、その業務を総括する。体育会予算の大部分を市道、市郡区から支援される財政の依存性は大きな負担だ。体育会に対する地方自治体の財政支援義務化とは別に、民選以前の過去に回帰して地方自治体長が体育会長を兼ねるべきだという問題提起に力が入らないよう体育会の財政自立を高めていかなければならない。

透明性と公正性は民選 2 期体育会長の基本的態度だ。体育会長はしばしば問題になってきた体育会の腐敗と不正、予算の不法執行、不正採用と報恩人事、派閥争いなどと決別し、透明性と公正性を強化しなければならない。体育指導者たちの処遇を改善し、人権侵害を予防し、保護しなければならない。誰でもどこでもスポーツを楽しめるよう、地域の体育施設を拡充し、市民のスポーツ活動への参加を拡大しなければならない。生活体育を基盤にエリートスポーツの自生力をバランスよく育てるビジョンを樹立しなければならない。

かつて体育会長の不正と行動の問題はマスコミの定番メニューだった。体育を武器にその中心でカルテルを形成し、簡単な票を得ることを好む政界と野合し、利権を得ることが日常茶飯事だった。政治はスポーツを生かすことも壊すこともできる重要な要素だ。体育関連法と制度を作り、予算を拡充してより良いスポーツ体系を作るのに政治の役割は重要だ。共生と協力、議論が必要だ。しかし、体育会が、体育界が政治家の遊び場に転落する問題は別次元だ。体育会長の政治的中立は危険な綱渡りの境界ではなく、非常に原則的な問題であり、体育会の透明性と公正性、独立性のために必須だ。過去の旧態と決別し、新しい体育会に生まれ変わることを要請する。

2023 年 1 月 10 日

体育市民連帶



体育人 500 万人のうち体育会長を選ぶ人は「たった 0.01%」。



民選体育会長時代だ。民選体育会長は体育と政治を分離しようという名分から始まった。2020年の第1期を皮切りに、昨年末の選挙を経て、第2期体育会長まで選出した。

初代民選体育会長選挙の時は体育会職員と政治家の介入などの副作用が続出した。準備なしに突然施行されたうえ、規定も足りなかったためだ。これを制裁する案もなかった。

民選2期選挙を控え、大韓体育会がガイドラインを作り、地域選挙管理委員会に委託する一方、対策をまとめた。しかし、何が問題だったのだろうか。民選2期体育会長選挙もやはり「真っ暗」、「体育人排除」のような論難を残した。

畿湖日報は民選体育会長選挙で明らかになった各種問題点と改善点を探ってみた。

民選体育会長選挙はたった1%の有権者が当落を決めた。民選体育会長選挙は代議員が選ぶ間接選挙だ。投票権を握った代議員は大韓体育会会長選挙管理規定ガイドラインに明示した市道体育会と種目団体代議員、市・郡体育会代議員だ。

先月15日に行われた民選2期体育会長選挙では、党内選挙で16の市道体育会の次期首長を決めた。忠清北道だけが唯一無投票当選した。

16市道の選挙人数は計6672人で、平均417人だ。京畿道が593人で最も多く、済州道が227人で最も少ない。投票率は済州道が99.6%で1位、京畿道が75.4%で最下位だった。

京畿道の場合、大韓体育会に公式登録した全体体育人は2022年基準で選手クラブ(専門+生活)5万120人、運動部(学校+職場)1万6384人、指導者6722人、選手管理担当者43人を含め計7万4169人だ。全体体育人のうち0.8%だけが投票権を持っているが、このうち447人が投票に参加して道体育会長を選んだ。

道内31市・郡体育会長選挙では11ヶ所が無投票当選し、20ヶ所で予備選挙を行った。20選挙区の総選挙人数は440人、平均202人だ。選挙人数の最多は龍仁市(342人)、最低は漣川郡(62人)だ。投票率は54.0%(儀旺市)から94.4%(驪州市)へと偏差が大きい。

道と道内の市・郡を全て加えても民選体育会長の投票権を握った人員は4千633人で登録体育人の6.2%に過ぎない。

京畿道内の体育人は約500万人と推算される。これは大韓体育会公式名簿と国民生活体育実態調査同好会加入数、31市・郡体育会指導者プログラム参加者数、道体育会主要事業参加体育人数を合わせた結果だ。重複した数値を除いても400万~490万人に該当する。500万人を体育人と見ると、道体育会長の投票権はわずか0.01%、市・郡体育会長を含めても0.09%だけに与えられたわけだ。

2021年に進行した第41代大韓体育会長選挙人団も2千170人だけだった。満18歳以上のすべての国民に投票権を与える公職選挙、すべての組合員が投票権を持つ組合長選挙とは差が大きい。組合長選挙は民選体育会長と同じ委託選挙だ。

民選体育会長の投票権を握った代議員の中で種目団体長と市郡区体育会長を除いた相当数が「非体育人」という点も現職体育人が物足りなさを吐露する部分だ。選挙人団の資格が付与される市道体育会や種目団

体の代議員が選手と指導者、同好人たちの現職体育人ではなく、事業家や弁護士、学校長、自治体所属の当然職理事を中心に構成されるためだ。

ある体育人は「体育人代表を選ぶのに体育人ではない人々が投票権を行使する」とし、「本当に体育人のための、体育人による選択なのかを考えてみなければならない」と話した。

出典：<http://www.kihoilbo.co.kr/news/articleView.html?idxno=1011801>

03 ハンギョレ 2023. 01. 06

スポーツ倫理センター、「金浦 FC ユース選手死亡」指導者懲戒要請



昨年4月、極端な選択で亡くなった金浦 FC 幼少年チーム所属の A 君(18 歳)の死亡と関連し、いじめ疑惑を受けたコーチ・選手たちに対してスポーツ倫理センターが懲戒を要請することにした。

スポーツ倫理センターは6日、「3日の審議委員会の審議結果、『幼少選手死亡事件』と関連して事案の深刻性を認知し、監督・コーチなど指導者と一部同僚選手に対して『懲戒要請』を議決した」と明らかにした。死亡した当日未明、A君は自身のカカオトークに幼少年チームコーチ2人と選手6人、中学校時代所属チーム選手2人の名前を書き「彼らには死んでも呪いをかけるだろう」というメッセージを残した。

倫理センターは「3年前、参考人まですべて調査し、被害選手の中学校時代の同僚選手のいじめ、指導者のずさんな管理、監督とコーチが高校生選手に生活規則違反時に携帯電話を押収したり剃髪をするなど過度な罰則を与え、言語暴力を加えた事実を確認した」とし「審議委はこのような身体的自由およびプライバシーの自由など基本権侵害および言語暴力を認めた」と説明した。

合わせて倫理センターは「未成年選手たちの合宿所生活中の過度な基本権侵害および再発防止のために関連団体に制度改善といじめ防止など人権侵害予防教育を勧告要請した」と付け加えた。チョン・ソヨン審議委スポーツ人権小委員会委員長は「携帯電話押収、強制剃髪、悪口などの行為は明白な人権侵害であり、このような指導が体育界の慣行という理由で容認されてはならない」と話した。

被害者が発生して約8ヵ月ぶりに出た初の公式機関の結論だが、具体的な懲戒の程度や施行可否はまだ分からない。倫理センターには懲戒を直接下す権限がなく、各種目団体と協会に勧告だけできる。今回の「懲戒要請」は文化体育観光部を経て大韓体育会に伝達される予定だ。

出展：https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1074679.html

04 ニュース 1 2023. 01. 07

「約束を破ってネットカフェに行ったの？」 小学生の教え子 150 回殴った体育館館長、2 審も執行猶予



江原道原州市で、自分が運営する体育館でネットカフェに行かないという約束を破ったとして、小学生の教え子に暴行を加えた30代の館長が、2審でも懲役刑の執行猶予を言い渡された。

春川地裁刑事2部（李ヨンジン部長判事）は7日、傷害と児童福祉法違反（児童虐待）容疑で起訴されたA氏（37）の控訴審でA氏の控訴を棄却し、原審（懲役2年、執行猶予3年）を維持すると発表した。また、保護観察と40時間児童虐待治療講義の受講および240時間社会奉仕、児童関連機関の5年間の就職制限も維持された。

A氏は3月2日午後7時30分ごろ、原州のある体育館で約束を破ってネットカフェに行ったという理由で、教え子のB君（11）の眼鏡を外し、ヘッドギアとグローブを着用させた後、頭、顔、お腹など約150回にわたって殴った疑いで裁判にかけられた。

当時、1審裁判所はA氏の暴行でB君に約2週間の治療はもちろん、身体健康および発達を害する身体的虐待をしたと見た。

A氏は刑が重いと控訴したが、裁判所はこれを受け入れなかった。

2審裁判所は「原審判決以後、被告人に有利に量刑に考慮するほどの顕著な事情変更はない」とし、「A氏の事情を全て考慮しても原審の刑が重すぎて不当だとは見られない」と明らかにした。

出典：<https://www.news1.kr/articles/4918009>

05 聯合ニュース 2023.01.09

北朝鮮、新年初の「体育の日」「丈夫な体力で新しい変革闘争に熱意」



北朝鮮が新年初の「体育の日」（毎月第2日曜日）を迎えた8日、北朝鮮全域で多彩なスポーツ競技が行われた。

朝鮮中央通信は9日、「各地の人民が新年初の体育の日を迎え、多様な大衆体育活動を行った」と報じた。平壤の工場、企業所では集団競走、バレーボール、卓球競技が行われ、黄海製鉄連合企業所、興南肥料連合企業所、順天地区青年炭鉱連合企業所でもいくつかの競技が行われた。

中央通信は「数多くの体育競技で選手たちは丈夫な体力で新年にも新しい変革と発展を成し遂げていく闘争熱意をよく示した」と評価した。

平壤製糸工場のキム・ジョンスク関係者は朝鮮中央テレビに「サッカーとバレーボール遊戯娯楽試合も行き、ツツジ園では水泳競技を組織した」とし「従業員の熱意も非常に高く、職場作業班では選手たちが勝つぞ、と喜んで参加している」と話した。

ただ、前日は金正恩國務委員長の誕生日だったが、これを記念して体育の試合を行ったという言及は官営メディアのどこにもなかった。通常の体育の日であり日曜日としてだけ過ぎたようだ。

北朝鮮は1992年から毎月第2日曜日を「体育の日」に指定し、さまざまな種目の運動競技を行ってきた。特に、金正恩体制になってからは全国に体育施設を増やすなど、スポーツ分野の育成に注ぐ関心はさらに格別になった。

2014年には夫人のリ・ソルジュと一緒にサッカー試合を観戦し、2015年には東アジアカップで優勝して帰国した女子サッカー選手たちを平壤順安国際空港まで出迎え、2020年には馬息嶺スキー場を開場した。

これは体育競技を通じて住民の愛国心を自然に引き出すことで内部結束を強化し、同時にスポーツの熱気を高め政治的不満を分散させる統治技術だという評価が出ている。

06 聯合ニュース 2023.01.07

「もらった応援返したい」…元ボクサー、チャン・グァンシク氏の人生第2幕



「選手時代、国民から受けた応援と愛を隣人に返してあげたいです」
清州市清原区栗梁洞でボクシングジムを運営するチャン・グァンシク（38）氏は、13年間ボランティア活動をしている理由について、このように説明した。

02年からボクシングバンタム（54キロ）級国家代表として活躍したチャン氏は、05年エジプト国際ボクシング大会金メダル、06年インド軍人オリンピック銅メダル、09年全国体育大会ボクシング1位などを獲得し、エリート選手生活を送った。

一見華やかに見える彼の青春の裏には、幼い頃に経験した苦しい貧困が隠されている。

豊かでないため、彼は小学校の時から新聞と牛乳を配達した。

中学校時代、育成会費を免除してくれるという言葉にボクシングを始め、まともなグローブ一つ買うお金がなくて古くて臭い共用グローブをはめて運動した。

7日、連合ニュース取材陣に会った彼は「貧困の苦痛をよく知っているので、後日貧しい人を助けるといふ気持ちが自然にできたようだ」として「国家代表としてリングに上がり国民から受けた愛を返したかった」と話した。

忠清北道忠州が故郷のチャン氏は2014年引退後、清州に降りてボクシングの大衆化のために生活ボクシング体育館を開いた。

体育館が落ち着く前だったので忙しかったが「真の奉仕は、無い時間を割いてしなければならない」という信念で奉仕に乗り出した。

一番先に地域奉仕団体である社団法人飛び石橋を訪れ、練炭配達奉仕などに参加して経験を積んだ。

ある程度ノウハウができたチャン氏は、楽しみながらできるユニークなボランティア活動を企画した。

春・夏には映画「拳が泣く」からインスピレーションを得て「路上人間サンドバッグ」を自任した。

彼は「毎週金曜日の夜、男性1万ウォン、女性5千ウォンの参加費を受け取り市民30人余りを相手にした」とし「市民のストレスを解消すると同時に貧しい隣人のための寄付金を集めることができ大きなやりがいを感じた」と話した。

秋と冬には路上で焼き芋を売って隣人愛を実践した。

最初は奉仕するふりをして体育館を広報しようとしているのではないかという厳しい視線もあった。

しかし、旺盛に寄付活動をする姿を見て、チャン氏の本心を知った周辺の人々は、本来のサツマイモの価格より高い価格を支払うなど、分かち合いに参加し始めた。

このような善行で彼は2018年清州市模範市民賞に続き、昨年12月忠北知事表彰状を受ける喜びを享受した。

分かち合いに対するチャン氏の小さな情熱は、また別の善行を呼び起こした。

青年奉仕者が不足していると判断し、3年前に設立した「青年飛び石橋」という奉仕団体に体育館の弟子たちはもちろん、彼らの両親まで加入して力を加えた。

60人で始まったボランティアはいつのまにか100人に増え、善良な昼食分かち合い奉仕、愛のパン作り、街の環境美化奉仕など助けが必要ならばどこでも手を差し伸べるようになった。

最近、家庭の事情が厳しい地域の学生選手を後援する協約を忠北道体育会と締結したりもした。

チャン氏は「新型コロナウイルス感染症で体育館運営が容易ではない時、私もまた周辺の助けで持ちこたえることができた」として「互いに助け合い激励する善良な影響力はブーメランになって帰ってくるという真理を伝播しながら生きていく」と話した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230106031500064?input=1195m>

07 週刊スポーツニュース

与党・政府「廃校敷地に文化体育施設設置.. 経営不振大学の構造改革」

https://news.jtbc.co.kr/article/article.aspx?news_id=NB12110230

オーストラリアに根付いた「Kゴルフ教育」…韓国人コーチの情熱と挑戦

<https://www.ytn.co.kr/replay/view.php?idx=46&key=202301081930397560>

全国青少年スポーツひろばビリヤード大会、初の対面開催

<https://www.newsl.kr/articles/4917447>

李グンホ選手協会長「今年も選手たちの権利保護に先頭に立つ」

<https://www.stnsports.co.kr/news/articleView.html?idxno=158635>

女子バスケットボールのオールスター選手、バスケットボールの有望株との練習と親善試合

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007036026&plink=ORI&cooper=NAVER

水泳男女国家代表候補選手団と有望株選手団、冬季合宿訓練修了

<https://sports.donga.com/article/all/20230109/117353497/2>

鶏龍奨学財団、全国体育大会入賞学生に奨学金を渡す

https://newsis.com/view/?id=NISX20230104_0002148265&cID=10807&pID=10800

「希望と努力を忘れないでください」、W杯ベスト16入りの主役、キム・ヨングオン選手母校訪問

<https://www.jjan.kr/article/20230106580030>

「誰が勝ちましたか？」心停止3日で目覚めたフットボール選手の質問に…

https://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/1074724.html

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>